

がん教育実施報告書

学校名	郡山市立郡山第五中学校		
実施対象者 (学年・保護者など)	2学年		
教育課程の位置づけ	体育・保健体育 道徳 学級活動・HR活動 講演会・行事 その他(総合的な学習の時間)		
実施日時	令和 6年 11月 13日(水) 14:35 ~ 15:25		
打合せについて	【1回目】方法：電話とメール 内容：指導内容の確認、配慮の必要な生徒について		
	【2回目】方法：メール 内容：資料の確認		
外部講師 職・氏名	職名 郡山市保健所健康づくり課中央保健センター保健技師 氏名 秋元綾菜 香西悠里の2名		
実施内容	<p>【テーマ】がんのはなし がんについて学ぼう</p> <p>1 がんってどんな病気？</p> <p>細胞分裂するとき変異し悪性化したものが「がん」であること、細胞が分裂するすべての臓器にがんができる可能性があることを説明された。</p>		
	<p>2 日本のがんの現状</p> <p>日本人の2人に1人ががんにかかる、日本人の約3、4人に1人ががんで亡くなっている現状をクイズ形式で生徒に関心を持たせた。日本人の死亡原因や平均寿命について統計で示され、長生きとがんの関係を説明された。</p> <p>3 がんの予防</p> <p>主な原因は生活習慣、細菌やウイルス、遺伝的な要因、原因不明をあげ、体に悪い生活習慣を改めることでがんを予防する対策を取ることができる、また食生活や運動について具体的に説明された。</p> <p>4 もしもがんになったら？</p> <p>今は検査や治療の精度が格段に良くなり、がんになっても多くの人が治るようになってきたことと、早期発見がカギで定期的な検診が大切であると説明された。</p> <p>5 がんの患者さんへの理解</p> <p>患者さんの痛みは体の痛みだけではなく、身体的、精神的、社会的、スピリチュアルペインなどがあり、どんな痛みも我慢する必要はないということ、患者さんがどんな思いを抱いているかを理解して接することが大事だと説明された。</p>		



成 果 等

1 生徒の感想

体についての学習は気分が悪くなりやすく心配だったが聞きやすい話や「苦手な人は見ないように。」と言ったのであまり体調が悪くならなかった。ありがたかったです。

少数の人ががんにかかると思っていたのですが、2人に1人がかかると聞いて身近な病気なのだと思います。生活習慣や食生活の見直し、がん検診を積極的に受けたいなと思いました。

2 外部講師を活用してよかった点や課題等

外部講師による講話は、生徒にとって特別感があること、内容も具体的で分かりやすい内容のため保健の授業で学んだことが深められた。

がん教育については生徒自身を含め、保護者にがん患者がいないかなど配慮を要する生徒の確認が重要で事前の調査が大切だと考えている。配慮の必要な生徒について教育相談期間中に保護者と生徒、養護教諭の面談を実施し、少し安心してがんについて学ぶことができた。